

扶桑町商工会

メッセナゴヤ 2022 ハイブリット出展事業成果報告

リアルとオンラインのハイブリット開催！ 扶桑町商工会より4社が出展しました！

本年のメッセナゴヤは新型コロナウイルスの状況を勘案して、昨年と同様にリアルとオンラインのハイブリット方式で開催されました（リアル開催は名古屋金城ふ頭・ポートメッセなごやにて 11/16（水）～18（金）・オンライン開催は 11/1（火）～30（水））。当商工会から愛知県の認定する経営革新計画の認定事業者である、ダイワ化工株式会社、株式会社セイシンエココーポレーション、株式会社名古屋モウルド、東洋金属株式会社の4社が出展しました。令和4年度新たにオープンした第1展示場にて開催されたリアル展示会では、徹底したコロナ対策のもと3日間で4万1千人を超える来場者があり、出展した4社は積極的に取引拡大の商談、自社の情報発信、業種・業態の枠を超えた交流を図り、ビジネスチャンスを大きく広げました。

メッセナゴヤ 2022

開催風景



1. 実績報告（令和4年12月2日時点）

リアル出展（4社合計）

問合せ件数	引合い件数	受注件数 (見込含む)	受注金額 (見込含む)
1,294	189	34	28,200千円

オンライン出展（4社合計）

問合せ件数	引合い件数	受注件数 (見込含む)	受注金額 (見込含む)
17	0	0	0千円

上記結果より、リアル出展について各項目の1社あたりの平均は、名刺交換枚数323.5枚、引合い件数47.3件、受注件数（見込含む）8.5件、受注金額（見込含む）7,050千円であった。この結果から、名刺交換を行った事業者のうち、約15%は具体的な商談となり、そのうちの約18%が実際の受注見込みにまで結びついている。昨年度実績に比べて、今年度は1日開催日が短縮されたにも関わらず、受注件数・受注金額において昨年度以上の成果を得られた結果となった。

一方、オンライン出展については受注にまで結びついている件数は0であった。今年度はリアル出展の規模がコロナ前の水準近くまで戻ったことに加えて、問合せの内容も参加企業の営業活動が多く見受けられたため、昨年度同様、今年度も具体的な成果は得られなかった。

2. ミッセナゴヤ 2022に出展して感じたメリット

（複数回答可）

売上拡大	情報の収集	知名度向上	取引先拡大	その他
3	3	2	3	0

上記結果より、出展したメリットにおいて、今年度の出展者の多くが「売上拡大」「情報の収集」「取引先拡大」を感じている。これはミッセナゴヤが日本最大級の異業種交流会であるため、従来ターゲットとしてきた業種・地域だけでなく、幅広い分野・地域における需要を新たに開拓・拡大することができたからと考えられる。また、当商工会にて事前に開催した「展示会の作り方セミナー」を受講したことにより、リアル出展におけるブース装飾やチラシ・ノベルティグッズなどの製作について学び、集客における効果的なブース作りを実践したことも功を奏したと考えられる。オンライン出展においても、PR動画など必要なコンテンツの制作について学び、来場登録者の目に留まる効果的な出展者ページが作成できたことで一定の「知名度向上」が図られたように思われる。